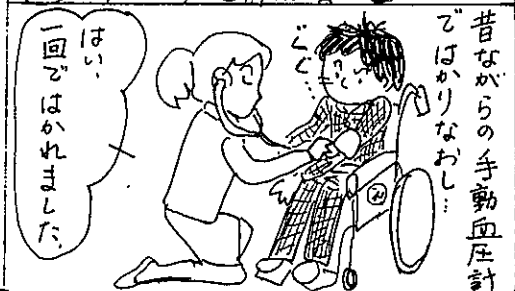
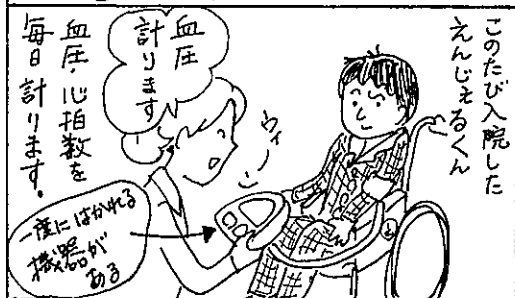
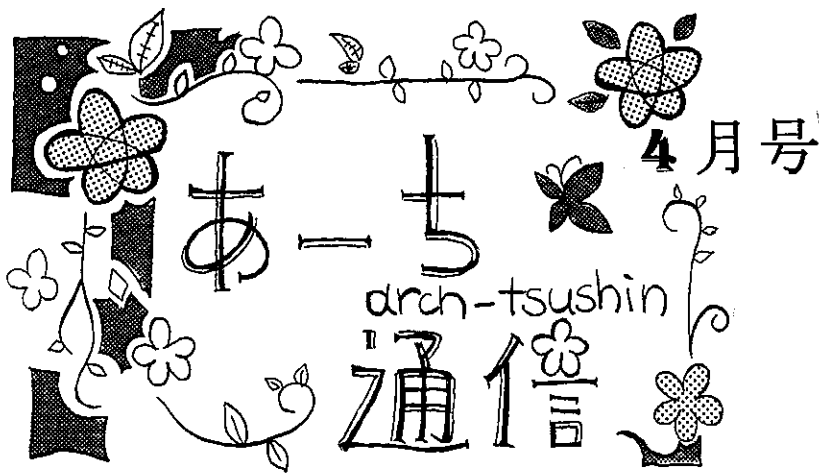


アナログ母子



2012年 4月号 vol.79

神戸大学大学院サテライト施設
「のびやかスペース あーち」
〒657-0057 神戸市灘区神ノ木通 3-6-18
TEL&FAX 078-805-6090 【開館：火～土曜日】
Email arch@h.kobe-u.ac.jp
http://www2.kobe-u.ac.jp/~zda/arch-prep.html
神戸大学大学院人間発達環境学研究科
ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11
TEL 078-803-7970 FAX 078-803-7971



卒業生からのひとこと

友だちが“一緒に行く？”と誘ってくれた4年前の秋。

おおらかで、冷静で、愛情深く、そしてパワフルなお母さん方と私には見えていない世界を楽しんでいるたくさんの子どもに出会いました。ここに来ることが自分の世界をカラフルにしてくれる、初めて来た日にビビッと感じた通りの“居場所”でした。

私にとって、“障害者”“子ども”“ボランティア”といったカテゴリー化はさして意味をもっていません。年上でも年下でも障害者と言われる人であっても、一緒にいて楽しい！と思える時間を過ごさせてくれ、私の知らないことを色々教えてくれる“友人”“親しい人”であることに変わりないからです。だからこそ所属や年齢などに関係なく多様な人が集い、同じ時間を共有する「あーち」が魅力的に思えたのです。

私も今年の春から民間企業に就職し社会人となります。そこで私は障害者雇用に関わる仕事にも関わることになっています。当然のようにそれを希望したのは、紛れもなく「あーち」の影響です。私は跳び箱が飛べません。片付けも苦手です。誰しも度々人の助けを借り、時に迷惑をかけ合って生きています。そのことを当然すぎて意識しなくなるような社会にするために、そして私が出逢った友人たちの魅力がもっともっと輝く社会にするために、「あーち」で教えてもらったことを生かすために巡り会ったお仕事なのだと思います。だから、自分が感じたこと学んだことを心の軸にしながら精一杯頑張っていこうと考えています。そしてもし自分が母親になったときは、居場所に出会った親御さんのように愛情深くて懐の大きな母親になりたいと思っています。

素敵な出逢いと経験に“ありがとうございました”の気持ちでいっぱいです。

(浅井詩乃)

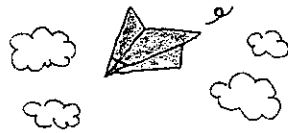
★「あーち」ボランティア募集★

「あーち」では、いろいろなボランティア活動をすることができます。

例えば、

- ・あーち通信の原稿執筆や編集
- ・障がいのある子どもの学習支援(火曜午前)
- ・障がいのある子どもを中心としたコミュニティづくり(金曜午後)

その他にも、赤ちゃんやお母さんとのコミュニケーションや、アート系プログラムのお手伝いなどでもご活躍いただけます。どうぞ、あーち受付までお気軽にお問い合わせください。

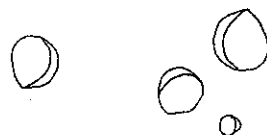


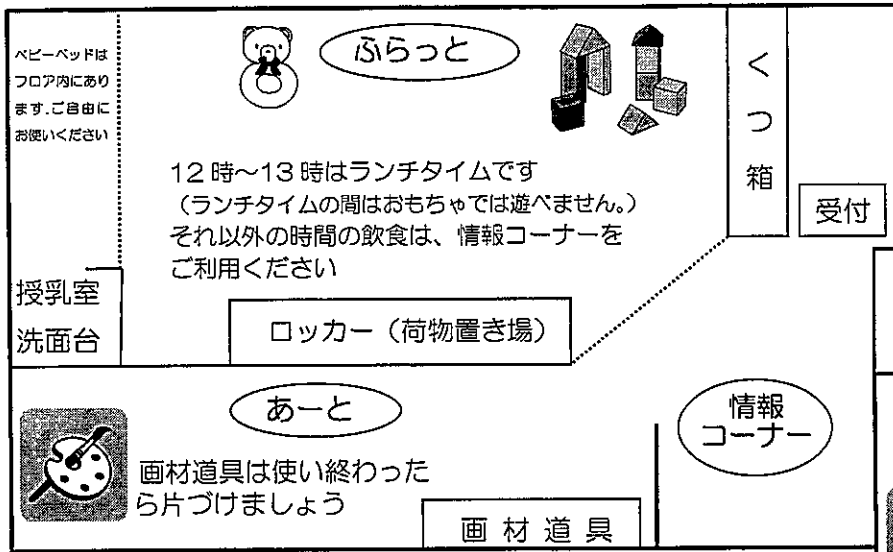
4月予定表



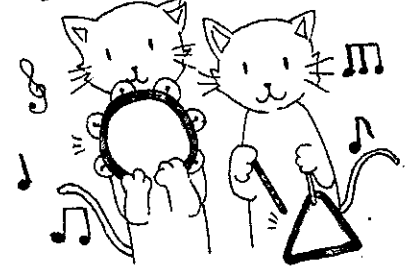
		こらほあーち	あーとあーち	ふらっとあーち
1	日	休 館		
2	月	休 館		
3	火	ほっと（予約制）10時30分～終日	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）
4	水			
5	木			ベビーマッサージ（はいはい）11時～
6	金	親子わらべ歌あそび 11時20分～ 居場所づくり 3時～6時		
7	土	なだ 桜まつり （バザー、手作りおもちゃコーナー出店 都賀川にて） 10時～15時		
8	日	休 館		
9	月	休 館		
10	火	ほっと（予約制）10時30分～		おひさまひろばあーち（午前中）
11	水	ほのぼの音ランド 11時20分～		おりがみあそび 2時30分～
12	木		筆をもとう 1時～2時30分	
13	金	居場所づくり 3時～6時		
14	土			
15	日	休 館		
16	月	休 館		
17	火	ほっと（予約制）10時30分～	あーち人形劇団「むー」企画会議 1時30分～	おひさまひろばあーち（午前中）
18	水		あーち通信編集会議 10時30分～	
19	木			
20	金	親子わらべ歌あそび 11時20分～ 居場所づくり 3時～6時	アートセラピー 3時30分～5時	
21	土	ぼっとらっく（予約制）		紙芝居 11時～
22	日	休 館		
23	月	休 館		
24	火	ほっと（予約制）10時30分～		おひさまひろばあーち（午前中）
25	水			おしゃべりほっとタイム 11時～
26	木		筆をもとう 1時～2時30分	ベビーマッサージ（ねんね）11時～
27	金	居場所づくり 3時～6時／らくがきおばさんがやってきた 3時30分～		
28	土	おはなしの国 1時30分～2時 音楽の広場 2時30分～		
29	日	休 館		
30	月	休 館		

- ・予約制以外の、どのプログラムも参加（見学）することができます。
- ・プログラム参加の年齢制限はありませんが、内容などの詳細は受付までお問合せください。
- ・ベビーマッサージにご参加の方は、バスタオルを1枚お持ちください。
- ・「ふらっと」は16時30分（金曜日は17時30分）より整理整頓の時間とさせていただきます。





あーちの案内



こらぼ

プログラムがない時はピアノを弾くことができます(受付までお申出ください)

ベビーカー
置き場

お気軽にお声をかけてください

<ふらっと相談員>

- | | | |
|----|----|-------------------------|
| 火曜 | 午前 | 保育士 助産師 |
| | 午後 | 灘区地域活動支援コーディネーター |
| 水曜 | 全日 | 元母子相談員 |
| | 午前 | 臨床発達心理士 (不定期) |
| | | NPO 法人マザーズサポーター協会 (第4水) |
| 木曜 | 全日 | 発達相談員 |
| | 午前 | 助産師 (月2回) |
| 金曜 | 午後 | 灘区地域活動支援コーディネーター |
| 土曜 | 午前 | 助産師 (第2土) |

あーちのルール

- ☆オムツやゴミは必ず持ち帰りましょう
- ☆託児の機能はありません
- ☆就学前のお子さんが遊ぶときは、保護者の付添いが必要です

『カイくんの手帳セル』

あか しゅうぞう・さく
ふじた ひろこ・え

佼成出版社

おじいちゃん、古いアルバムを見せてもらった。カイくんは驚きました。

物がない時代の小学校入学の写真にはランドセルが写って

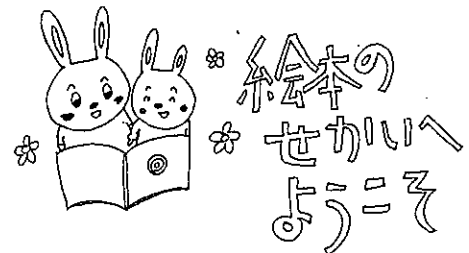
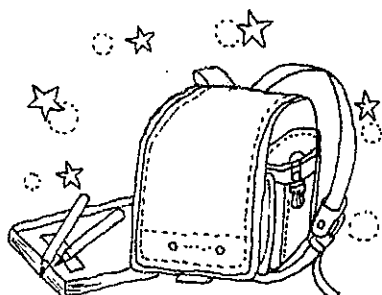
いなかったからです。

おじいちゃん、おばあちゃんにランドセルを買ってもらって

嬉しくて寝るまで はなさない カイクン。

家に帰る日 カイクンは・・・

1年生になる喜びが あたたく描かれた本です。



絵本の

せかいへ
ようこそ

みなさんも初めて ランドセル 使った日を楽しんで

はほえんではしょうのでは ないでしょうか。

大切に6年間、感謝に使ってもらいたいですよね。

とうとう我が家の息子も6年間 お世話になったランドセルと
お別れです。

夏休み、冬休み、春休みになると、サゲキレ、からぶきして
次学期に自分で準備するように仕向けました。
もちろん1年生からですよ。

次へ ステップアップして学んでもらいたいものです。

浜家



子育て一歩二歩 第2回「たぶん大丈夫」



まりまり

こうやって一人の時間が長いおかげで、今まで何気なく人と喋ることがどれだけ刺激になっていたかこの時初めて気が付いた。

一日中喋る相手がいないというのは結構しんどい。

唯一救われたのが高知の見知らぬおじちゃんおばちゃん達。

外出先で困っているとさっと手を貸してくれたり時にはきちんと注意してくれたり。

どこに行っても昔のご近所さんみたいに気さくに話かけてくれる。

こういった人の温かみにどれだけ癒されたか。

高知にさんさんと降りそそぐ日差しは人の心にも影響をあたえるのだろうか。

夫に対して「わかってほしい」とか「こうしてほしい」と苦言を訴える私とはまるで大違い。

結婚当初の 夫を支えることが夫を介しての社会貢献 なんて意気込みはどこへやら。

そんな時だった。

妊娠が判明した。

突然のことでまだ実感はないものの、嬉しさがじんわりとこみあげてくる。

そう、きつとこの妊娠をきっかけに今の生活の流れは変わるはず。

今まで通りしんどいことがあればこうやってとりあえず新しい出来事に目を向ければいいのだ。

初めての出産への不安はあるけど子育てはたぶん大丈夫。

短大時代に学んだ幼児教育や実習の経験が少しは育児の支えになってくれるはず。

私が育った家庭は三人きょうだいの五人家族だったがいつもまとまらず、毎日がまるで暗い苦悩の渦の中にいるようだった。

仕事に奔走する両親は自分の家庭などかえりみる余裕はなかったのだろう。

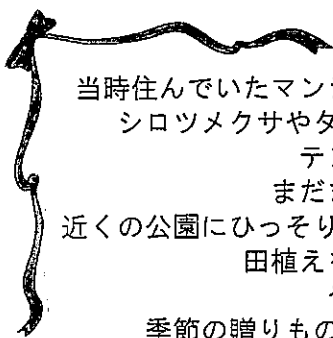
特に父は厳しく、少女時代は父との確執に大いに悩みながら反抗し続けた。

一方では親の愛情に飢えていたのだ。自分の存在を認めてほしかった。

自分の家庭で同じことは何があっても絶対に繰り返すまい。

この結婚で、厳しかった父からの解放と束縛されない自由とを手に入れたのだから。

つづく



高知でのお花見

当時住んでいたマンションの周りは田んぼや空き地が多く、子どもと散歩の道すがらシロツメクサやタンポポなど春を彩る草花と子どもと一緒にたわむれました。

テントウムシやモンシロチョウも遊びにきます。

まだまだゆっくりお花見とはいかない時期だったけど

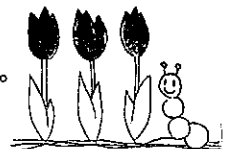
近くの公園にひっそりと咲く桜の花を見上げては「きれいだね～」と言っていました。

田植えを迎えるために張られた田んぼのキラキラした水。

やわらかな風のおいにお鳥たちのさえずり。

季節の贈りものが疲れた心をそっと包んでくれるようなひとときでした。

きっとこの神戸でも、たくさんの春を感じとることができるはずです。



「しろくまちゃんのほっとけーき」

作：わかやまけん こぐま社 1972年10月刊行

しろくまちゃんがお母さんと一緒にホットケーキを作ります。卵を落として割っちゃったり、こぼしちゃったりしながらも、がんばるしろくまちゃん。ぽたあん、ぶつぶつ、しゅっ、ぺたん、ふくふく・・・だんだん焼けてくるホットケーキはとてもおいしそう。こぐまちゃんと一緒においしく食べたら、後片付けもちゃんとしめます。読んだあと、しろくまちゃんのまねをして、ホットケーキを作りたいくなる一冊です。(三船)